

写真で見る

三河線 誕生百年

大正3年(1914)2月5日~平成26年(2014)2月5日



三河線誕生百年



才賀藤吉、三浦逸平ら 31 名の発起人と知立町から大浜町までの町村代表者らが明治 45 年 5 月 30 日、刈谷町(現・刈谷市寺横町)の正覺寺で碧海輕便鐵道の創立總會を開催。社名を碧海輕便鐵道から三河鐵道(通称…三鉄)と改称して設立した。同寺は明治 37 年 2 月、放火のため全焼。明治 43 年 12 月再建された。創立總會のときは、まだ、桜の香りが漂う中で開催されたのでは…。

写真で見る 三河線誕生百年・目次

まえがき	4
三鉄時代の三河線	5
三河鉄道の夜明け	5
西加茂郡誌	6
名古屋鉄道社史	6
神谷傳兵衛	7
神谷傳兵衛記念館	7
東京・浅草「神谷バー」	11
旧神谷傳兵衛稲毛別荘	12
故郷・松木島の面影	13
明治村「汐留バー」	15
写真が語る名鉄80年	15
絵はがきでたずねる	17
幻の橋台・橋脚跡	18
三鉄の電化	20
三河鉄道の宝物	21
古レール	21
鳥瞰図	22
杉本健吉画伯のポスター	23
三鉄マークの鬼瓦	24
海水浴場	25
煉瓦造りの開渠	28
大正時代の写真が	28
三鉄時代からの大金庫	28
踏切安全地蔵	28
名鉄三河線	29
木造車	29
半鋼製車	31
在りし日の刈谷工場	32
全鋼製車	32
電気機関車	34
知立連絡線	36
知立駅移転	37
冷暖房車登場	38

自然災害の爪痕-----	39
台風 13 号	39
伊勢湾(15 号)台風	40
S 47・7 集中豪雨	42
廃線区間の駅舎-----	44
駅舎の新築・改良-----	48
HL 姿消す-----	56
高架区間-----	57
刈谷市付近	57
上挙母～豊田市～梅坪	58
寺津～三河楠	60
越戸付近	60
三河八橋付近	61
LE-car-----	62
三河線両末端区間廃止-----	66
以ちこう博物館に-----	71
設備変更-----	72
西尾・蒲郡間廃止反対運動？-----	74
20 世紀末三河線で活躍した車両たち-----	75
平成 21 年 12 月 31 日現在 三河線専用車両-----	80
三河線で引退した車両-----	82
矢作川鉄橋解体作業の土産-----	86
現在の駅舎-----	88
シャトーカミヤ・TV.CM に登場-----	90
知立駅付近高架工事-----	91
100 年目の日(平成 26 年 2 月 5 日のスナップ写真)-----	92
記念乗車券など-----	95
廃線区間の春夏秋冬-----	96
廃線区間の貨物ホーム-----	98
国の登録有形文化財-----	100
番外	
豊田新線開業	101
さようなら挙母線	102
在りし日の挙母線	104
昔・三河線 今・蒲郡線	116
各駅の変遷-----	121
三河線の年表-----	130
三河鉄道唱歌・現在の三河線専用車両-----	142
付図 1 路線図(昭和 5 年 3 月 31 日現在)-----	143
付図 2 路線図(昭和 11 年 11 月 30 日現在)-----	144
踏切事故-----	145

まえがき

東海道本線の開業が西三河の町や村に起爆剤となって現れた。再び活気を取り戻そうとしていた刈谷町(西に大府駅・東に安城駅が誕生し町が寂れて)。新しい交通機関から孤立し(宿場に関係する人々の反対で東海道本線の誘致を断念した)何とかしようとしていた知立町。瓦や土管など地場産業の輸送手段に困窮していた碧海南部。こうした3地区が一体となって、知立町から大浜町まで鉄道を敷設することになった。それが三河線(三河鉄道)誕生の発端である。

ときに、大正3年(1914)2月5日、刈谷新(現・刈谷)～大浜港(現・碧南)間が開通し、当西三河地方の夜明けを開いた。(翌年の10月28日には刈谷新～知立間も開通し三河線の礎が誕生)

この三河線が後4年余で百歳を迎えようとしている。その節目に何か形のあるものを後世に残そうといろいろ考えたが良い案が浮かばない。仕方なしに手っ取り早いものに飛びつくことにした。それが、この写真集である。

手元にあるものを纏めるだけでは物足りない。名鉄資料館をはじめ三河会(現・三西会)や先輩達にも話を聞き、また、茨城県牛久市に三河鉄道3代目及び4代目社長の「神谷傳兵衛記念館」・東京浅草の「神谷バー」や千葉市にある「旧神谷傳兵衛稲毛別荘」にも、もう一度足を運び写真を1枚でも多く集めることにした。4年でどこまで集めることができるかにかかっている。

三河線は、北は西中金(昭和3年1月22日開業)から、南は蒲郡(昭和11年11月10日開業)まで開通し延べ81.7km。

蒲郡まで開通すると、上下列車が逆になった。鉄道の上り列車の起点は東京である。三河線が最初に開通したのは、刈谷新～大浜港間であったため、刈谷が東京方になり、大浜港から刈谷に向かう列車を上り列車といったが、蒲郡まで開通したことにより、蒲郡が東京方になり、上下列車を逆にしたのである。

昭和16年6月1日、名古屋鉄道と合併して、名古屋鉄道の三河線となる。昭和23年5月16日、路線名の変更があり、蒲郡～三河吉田(昭和35年11月1日「吉良吉田」と駅名改称)間17.6kmが「蒲郡線」となり、「三河線」は三河吉田～西中金間64.1kmとなった。

昭和34年4月1日、知立駅が北西に新設移転、従来の知立駅を分け、三河線側を「三河知立」、名古屋本線側を「東知立(昭和43年1月7日廃止)」に分割。また、移転したとき知立がスイッチバック線形となり、0.7kmプラスされ三河線は64.8kmとなった。平成16年4月1日、両末端区間の吉良吉田～碧南間16.4kmと猿投～西中金間8.6kmが廃止され、三河線は現在、碧南～猿投間39.8kmである。偶然か、不思議なことに「ポッポ」が走っていた碧南～猿投間と路線名を変更した蒲郡線が現在存続している。

今、西尾～蒲郡間が廃線の危機に直面している。平成21年12月18日の新聞によると「西尾・蒲郡間存続のため、ウォーキング大会や地元住民の存続を訴える運動」と題して報道。市民の思いを綴ったメッセージが蒲郡市民会館に展示してあると記してあり見に行く途中、高校生のグループ集団を発見。調べてみると、西尾高校の1・2年生全員が「こどもの国～西尾間」をグループに別れ、ウォーキングしながら手作りの幟旗を掲げて存続を訴えながら行進。吉良吉田駅前では、一色高校も垂れ幕を掲げて、趣旨に協賛し応援していた。時代だなあ……。と。

この運動を見て、三河線はもとより、蒲郡線や挙母線(昭和48年3月4日廃線)も触りだけでも写真集に入れることにした。

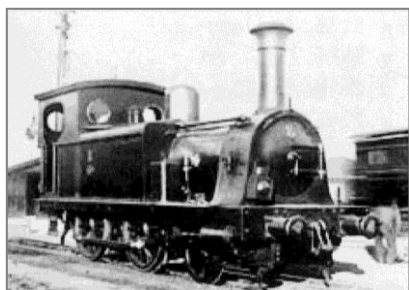
平成21年(2009)12月吉日

三鉄時代の三河線

三河鉄道の夜明け

大正3年2月5日 刈谷新～大浜港間…開通

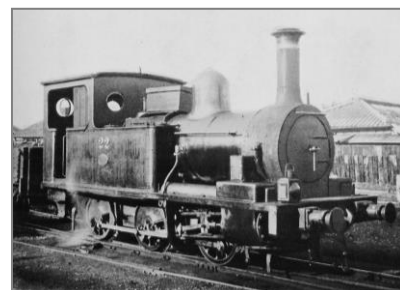
貧乏会社の三河鉄道は、記録によれば開業時、蒸気機関車のすべてを他社からの譲受や借り受けてまかっていたという。



120,122…1873年英ロバート・スティーブンソン製。1914年(大正3年)鉄道院から譲受。

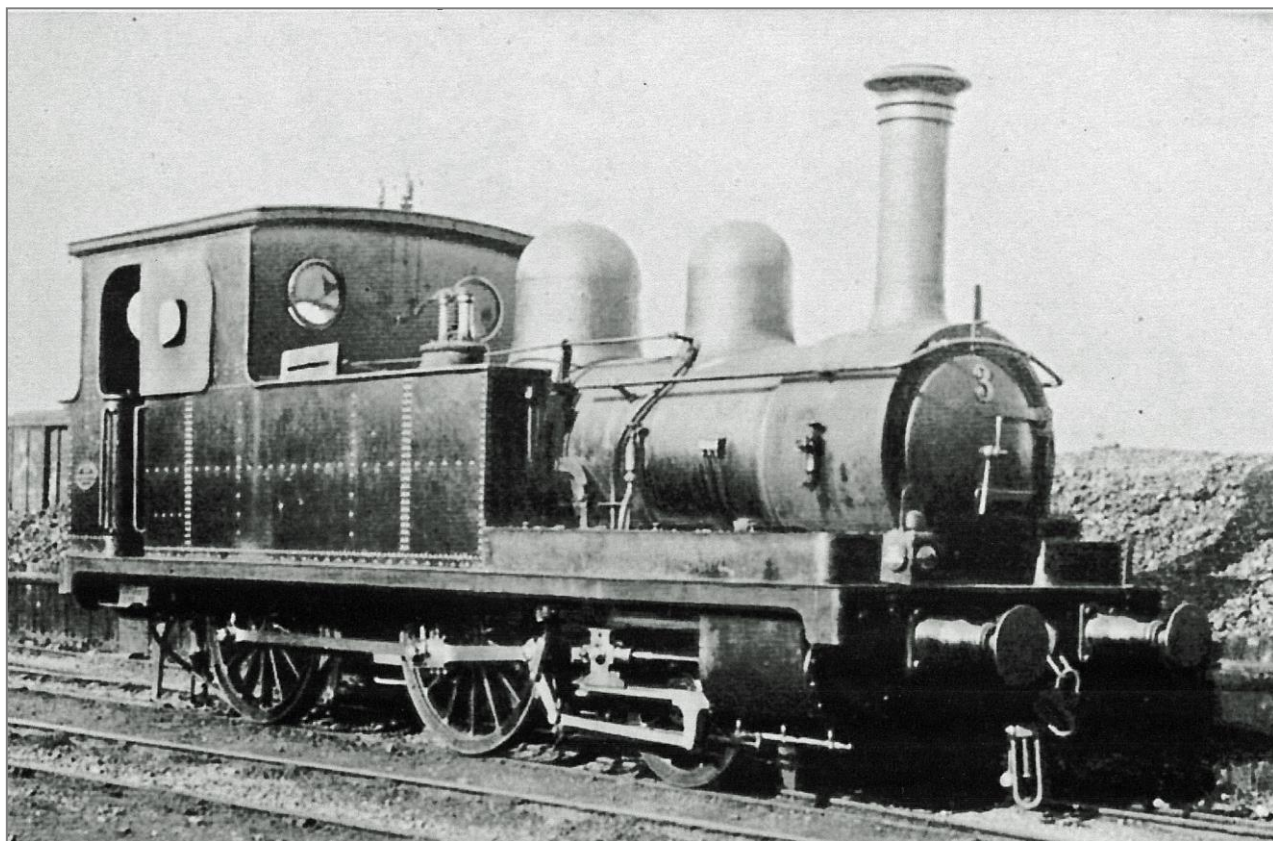


B形(1,4)1897年米ピッツバーグ製
1917年 高野・秩父鉄道から譲受。



1110形(1104,1109)英バルカン・ファウンドリー製。1917年鉄道院から譲受。

大正時代に活躍した 蒸気機関車たち



上…170,171…1903年汽車製造製。大正3年(1914)開業用として、鉄道院から借用し4か月後返却。

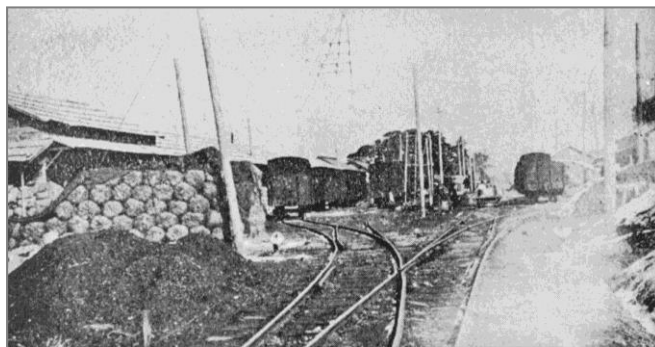
汽車製造は1896年から1972年まで存在した鉄道車両メーカーで1972年川崎重工業と合併。

その他→A形(1)を大正7(1918)年、秩父鉄道から譲受。

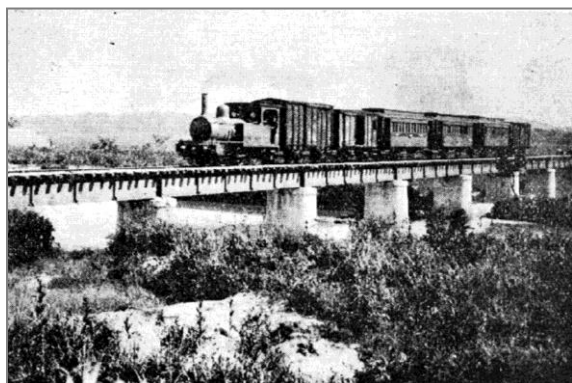
※ 鉄道院→大正9年以降→鉄道省→日本国有鉄道(現・JR…昭和62年4月1日)となる。

西加茂郡誌

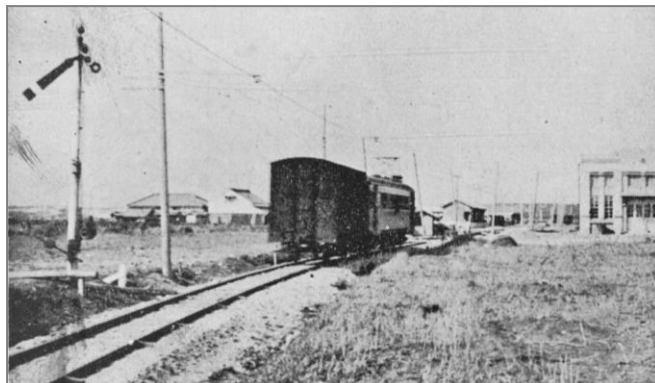
大正15年発行



拳母駅



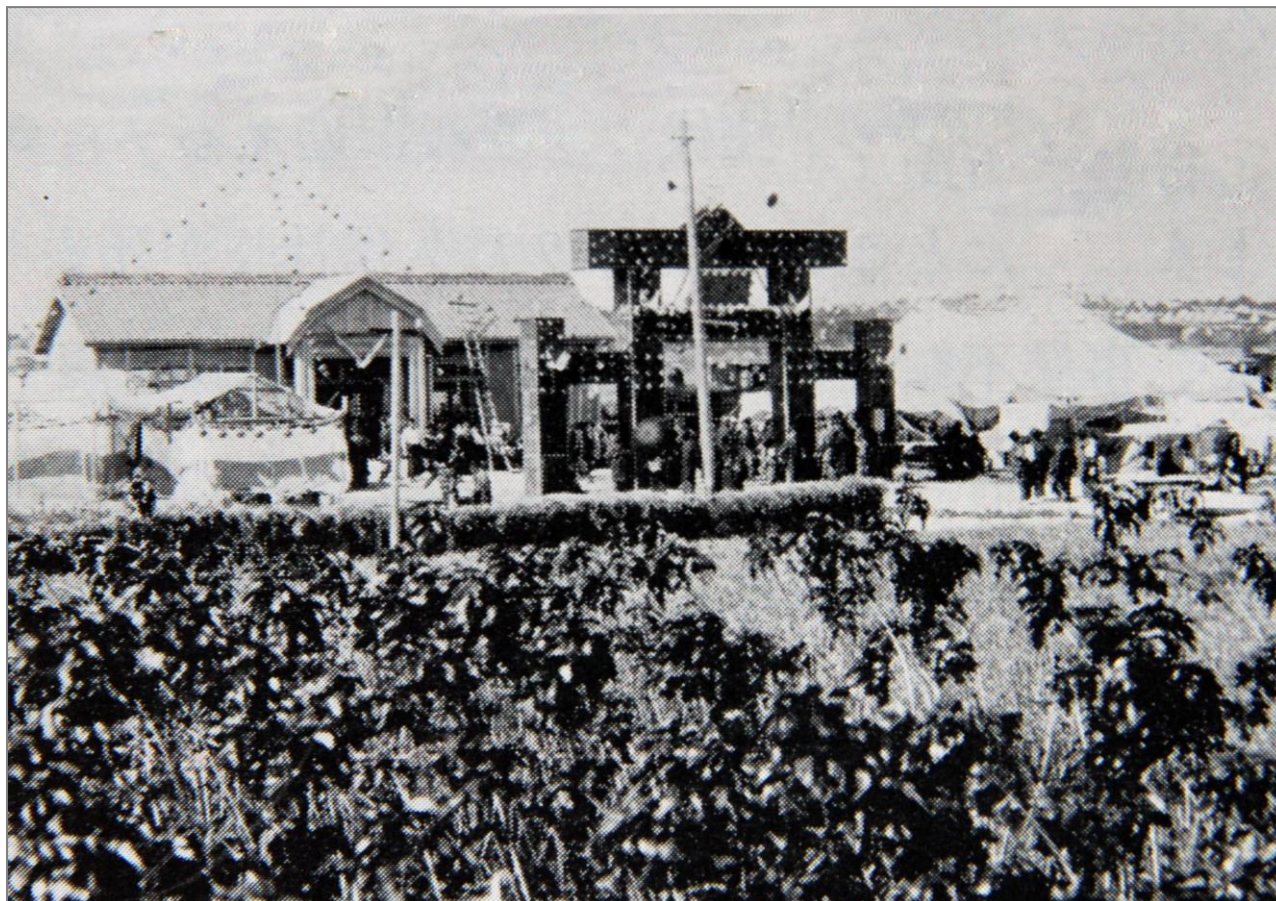
籠川橋梁 機関車は1100形



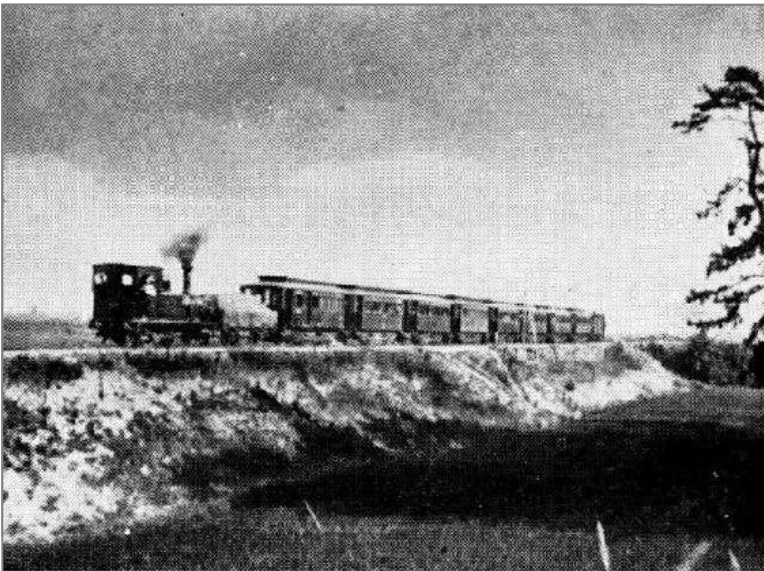
猿投駅

名古屋鉄道社史

昭和36年5月発行



開業当日(大正9年11月1日)の拳母駅…見事な祝賀アーチの手前には広い桑畑



開通間もない頃の刈谷町～小垣江間 機関車は120形



初代・神谷傳兵衛

神谷傳兵衛

西尾市一色町松木島出身の実業家で、東京・浅草で酒の一杯売り家「みかわや銘酒店」(後の洋酒バーの「神谷バー」)、茨城県牛久市のワイン醸造所のシャトーカミヤの創設者。三河鉄道の創立に取締役として参加、大正5年に経営危機に陥ったとき懇願され3代目の社長に就任。自ら莫大な資金を投入して経営再建を果たした。

4代目社長には婿養子の傳蔵(2代目傳兵衛…山形市旅籠町出身 旧姓・小林)が就任し、先代傳兵衛の没後4年の大正15年に路線が故郷の松木島に至ると先代の功績を称えて駅名を「神谷駅(昭和24年に松木島駅と改称)」と名付け、2年後の春、鉄筋コンクリートで貴賓室付駅舎を新築した。

神谷傳兵衛記念館

茨城県牛久市



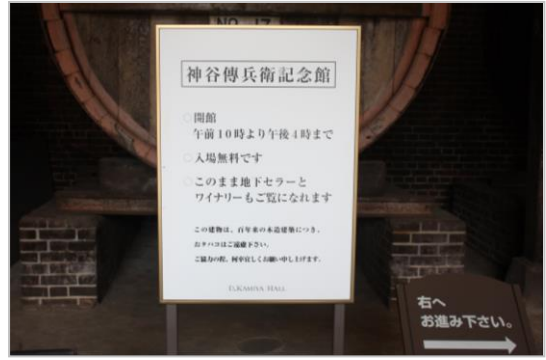
シャトーカミヤの本館前から
神谷傳兵衛記念館を望む。



左…シャトーカミヤの本館



神谷傳兵衛記念館
平成 21 年 5 月 16 日



平成 22 年 2 月 18 日



記念館 1 階は創業当時から使用されたホワイトオークの大樽が並ぶ貯蔵庫



蜂印香竈葡萄酒・蜂ブドー酒のポスター ※香竈とは父の恩を忘れないため父・兵助の俳号を用いた。





園内の一角にある狛犬。裏側に「昭和二年六月建之 三河鉄道株式會社」&「岡崎市石工 成瀬大吉」と刻印してある。これは三河鉄道従業員が7回忌のとき傳兵衛の墓守として寄進したもの。



三鉄の救世主

三河線は開業直後から財政困難に陥り苦慮。その上、久保社長の死去でダブルパンチにあい、役員全員が辞任。挫折寸前に落ち込み、

その存立さえ危ぶまれていた。株主の有志らは、神谷傳兵衛氏に社長就任を再三にわたって懇願した。神谷氏は鉄道事業の重要性を思い、意を決し引き受けた。



60 歳



45 歳

坂本箕山^{きざん}著の「神谷傳兵衛」の伝記本…右

大正 10 年 1 月 1 日発行の伝記本、神谷傳兵衛氏が現存時、書かれた珍しい伝記物。「現存者の伝記を作るのは、故人の伝記を作るより難しい」と書かれている。





近藤利兵衛(34歳)と 神谷傳兵衛(37歳)
 左側…「電気ブランデー」
 右側…「蜂印香竄葡萄酒」

近藤 利兵衛

初代神谷傳兵衛が、新しい甘口ぶどう酒の販売を開始した、明治14年からの無二の親友であり、最大の事業協力者。広告宣伝に独特のセンスを持ち、日本中に神谷ぶどう酒の名を広めた(明治17年からは「蜂印香竄葡萄酒」を商標登録)。日本橋に洋酒販売店を持ち、販売を一手に担当した。神谷傳兵衛より3歳年下。



神谷傳藏(2代目 神谷傳兵衛)
 写真小…24歳頃の小林傳藏

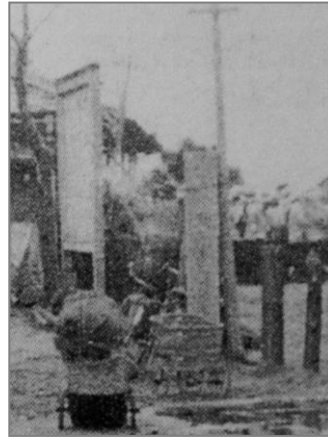
昭和10年(1935年)9月29日。

前列中央に、日本興業銀行総裁、結城豊太郎氏。
 その右隣り、二代目神谷傳兵衛。
 後列右端は、神谷傳彌(三代目神谷傳兵衛。
 明治34年(1901)12月1日に生まれる)。





大浜港(碧南)駅に降り立った遠足の子供たち。拡大すると、汽車に乗って遠足にやって来た子供たちが列車からホームに降りている。



上&右…大正通り記念石碑
塩田跡地に道路新設…「大正通」と名付けられる。



現・記念碑場所…裏側に大正3年7月と刻印
平成24年12月



写真左…浅草花川戸の「蜂印香竄葡萄酒」醸造場、浅草雷門の「神谷バー」の裏側にあった。明治45年4月

東京・浅草「神谷バー」



平成22年2月17日



浅草三社祭の神輿…平成21年5月17日



平成 22 年 2 月 17 日

神谷バーの歴史

明治 13 年(1880) 4 月「みかはや銘酒店」開業

- ① 明治 45 年 4 月 10 日屋号を「神谷バー」に改称
- ② 大正 10 年「神谷ビル」落成
- ③ 昭和 55 年 5 月 14 日新館落成

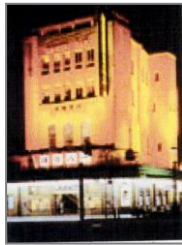
①



②



③



東京スカイツリーと神谷バー…生憎の雨でした。
…平成 24 年 6 月 9 日(再挑戦した写真は裏表紙)

旧神谷傳兵衛稲毛別荘

(千葉市民ギャラリー・いなげ)

千葉市で最も古い鉄筋コンクリート建造物。外観は 1 階が洋風建築、2 階が和風造りで床柱が、なんと「葡萄の巨木」さすがワイン王の異名を持つ神谷傳兵衛の別荘だった…と。

(注) DVD 持参者は写真の下に写真が隠れています。



平成 24 年 6 月 8 日

平成 25 年 10 月 27 日



神谷傳兵衛 故郷・松木島の面影



神谷傳兵衛の肖像画は、大正初期に一色村第3尋常小学校→大正15年4月1日から一色町立東部尋常小学校(現・西尾市立一色東部小学校)にあったが、現在は松木島公民館に保存されている。



松木島公民館所蔵

上の肖像画は、下の肖像画を額から出してモノクロで複写したもの。

松木島・八幡社



平成22年1月23日





明治22年 傳兵衛(左)と兄・慶助(右)が寄贈した常夜灯



八幡社境内の南西角と南東角に常夜灯がある。

南西角及び南東角の常夜灯に「東京花川戸町 神谷傳兵衛」と「東京下谷町一丁目 神谷慶助」と刻印、されている。

神谷慶(桂)助とは、傳兵衛の兄のことである。

※ 神谷傳兵衛氏の別宅は、八幡社の西一画にあったという。



上の写真は、平成22年1月23日のもの…刻印は読みにくい。
下の写真は、平成7年頃に撮ったもの…刻印は読み取れる。



明治村「汐留バー」



工部省品川硝子製造所内に平成15年3月1日オープンした「汐留バー」



葡萄酒の製造は神谷傳兵衛が、販売は東京・日本橋の近藤利兵衛に任せた。その商標看板が、明治村の「汐留バー」にある。また、傳兵衛ゆかりの飲物(蜂印香竈葡萄酒・デンキブラン)も販売している。



香竈葡萄酒

近藤利兵衛

写真が語る **名鉄80年** 昭和50年3月発行

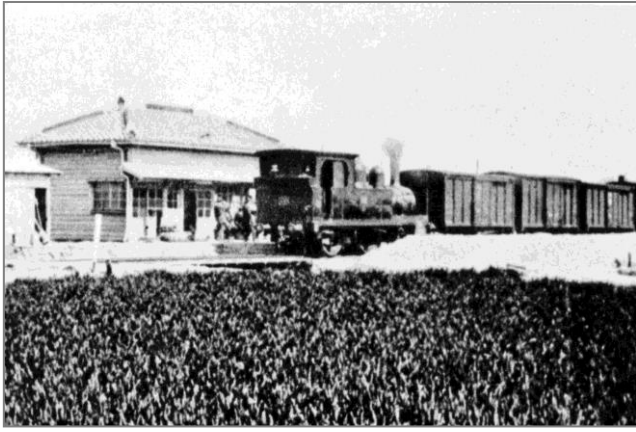


開通時の列車(籠川橋梁)B1号機関車と説明が付記。大正11年1月17日(越戸駅開業)撮影したもの? 一説には、三河鉄道の依頼で橋梁上に列車を止めて撮影されたとか。

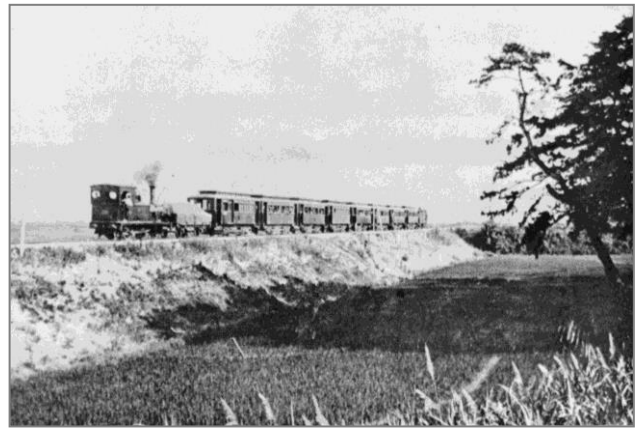
※ 三河鉄道には、転車台がなかったのか? 後ろ向きの蒸気機関車の画像が多い。調べたが転車台の有無は不明。



高浜港 1104号機関車



開業時の刈谷町駅(現・刈谷市)170形機関車



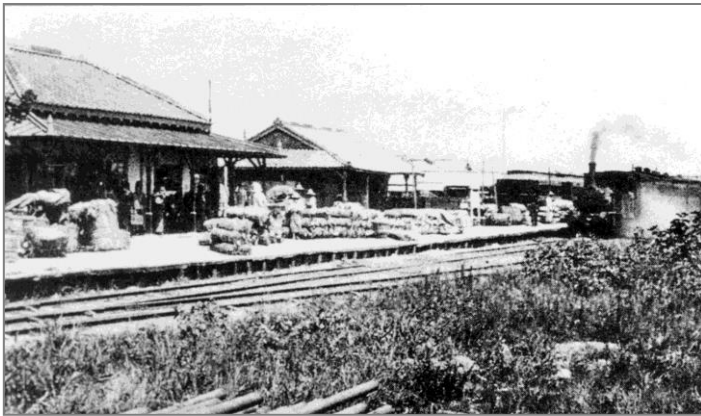
刈谷町(現・刈谷市)～小垣江間 120形機関車



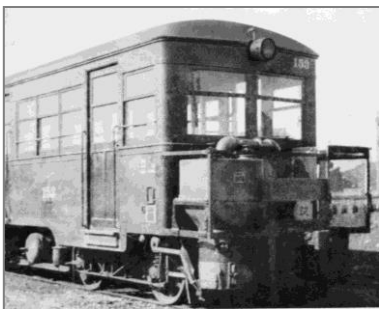
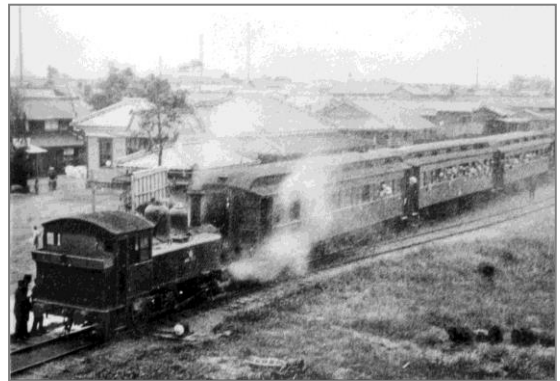
小垣江 120形機関車



高浜港



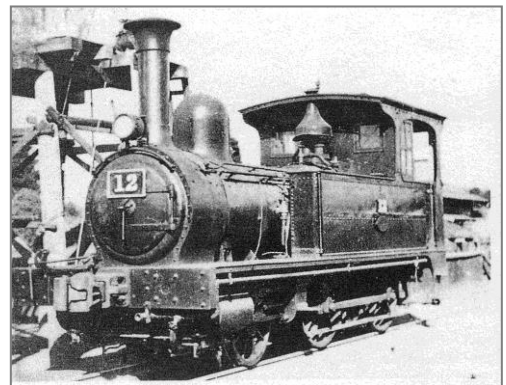
左及び下(B1機関車)…大浜港(現・碧南)



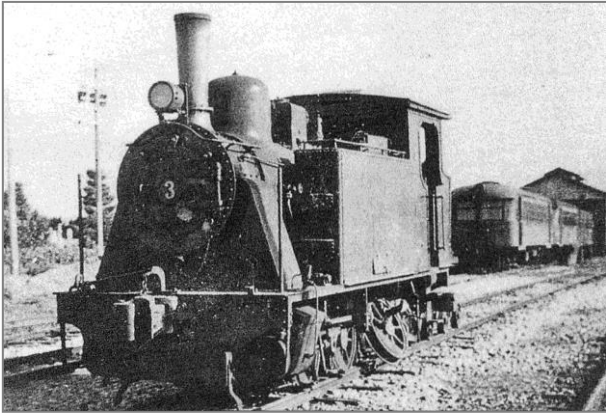
代燃車…三河線(三河鳥羽～蒲郡間で運転)



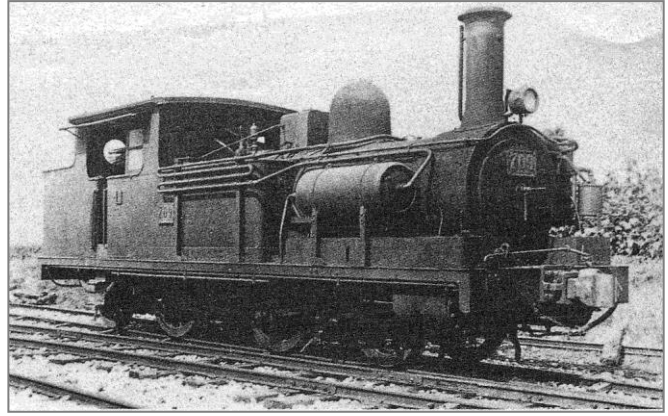
西幡豆に停車中の709号機…昭和11年頃



12号機 鉄道省より尾西鉄道に払い下げ、名古屋鉄道と合併後三河鳥羽～蒲郡間へ。現・明治村で動態保存。



3号機 大正12年雨宮工場製 昭和16年10月 熊延鉄道から移籍、12・13号機と共に三河線(三河鳥羽～蒲郡間)で使用された。 西浦駅



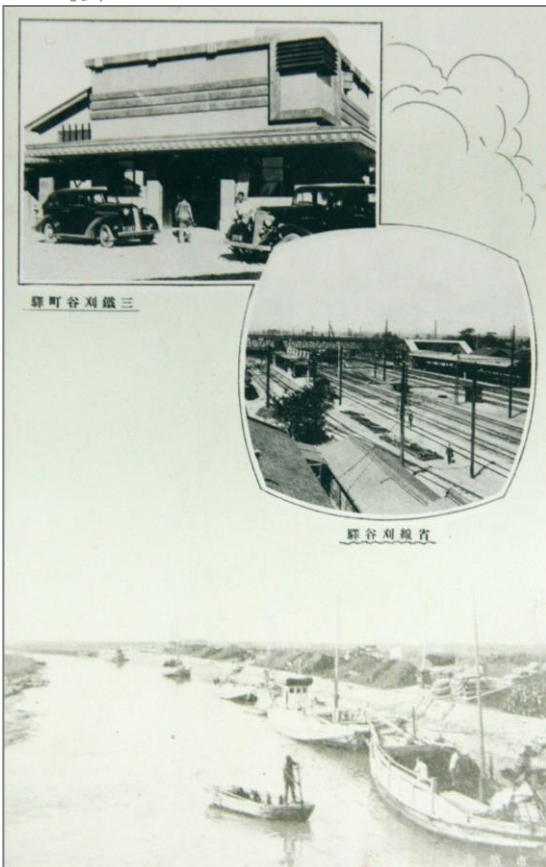
709号機 昭和11年三河線(三河鳥羽～蒲郡間)の非電化開業に鉄道省より譲渡された。

絵はがきでたずねる

明治・大正・昭和の刈谷

刈谷市郷土資料館

平成21年5月2日～6月14日



三河刈谷町駅

刈谷町観音

4(11) 三河鉄道

刈谷町駅前の光景 (拡大写真別掲)

中部日本興産博覧会は、大正13年(1924)に刈谷城址で開催された。刈谷町駅(現刈谷市駅)前の歓迎ゲートには、豊田紡織の文字が見える。



三河鉄道刈谷町駅前の光景 (名鉄三河線刈谷市駅前)

13(7) 三鉄刈谷町駅

・省線刈谷駅 (拡大写真別掲)

三鉄刈谷町駅(写真上)の「三鉄」とは三河鉄道のことで、刈谷町駅(現刈谷市駅)はその主要駅であった。省線刈谷駅(写真中)現JR刈谷駅。写真下は市原港で、当時舟運が盛んであった。



刈谷駅頭と刈谷港

三河鉄道の代表取締役氏名並在職期間

自 明治 45 年 5 月 30 日 至 大正 2 年 5 月 30 日	取締役社長	武山 勘七	自 大正 5 年 4 月 5 日 至 大正 11 年 4 月 24 日	取締役社長	神谷傳兵衛 (初代)
自 大正 2 年 5 月 30 日 至 大正 2 年 6 月 29 日	専務取締役	三浦 逸平	自 大正 11 年 4 月 24 日 至 大正 15 年 11 月 11 日	専務取締役	渡邊勝三郎
自 大正 2 年 6 月 29 日 至 大正 3 年 10 月 8 日	取締役社長	久保 扶桑	自 大正 15 年 11 月 11 日 至 昭和 11 年 10 月 2 日	取締役社長	神谷傳兵衛 (2 代目)
自 大正 3 年 10 月 8 日 至 大正 5 年 3 月 17 日	専務取締役	阪東 宜雄	自 昭和 11 年 12 月 21 日 至 昭和 16 年 5 月 31 日	取締役会長	米山 辰夫

(注) 米山辰夫会長…昭和 13 年以降「社長制を採用」 昭和 16 年 6 月 1 日合併で名古屋鉄道の「取締役」

幻の橋台 ・橋脚跡

西中金～足助間 夢と化す

大正 14 年 10 月 8 日、足助延長の起工式を猿投駅で挙。昭和 3 年 1 月 22 日、西中金まで開通。後は西中金～足助間の 7.4km を残すのみとなった。西中金～井ノ口(追分)間 5.0km の用地を買収し、昭和 4 年 2 月 10 日、建設工事着手。架道橋や路盤造りの工事を開始したが、追分～足助間の用地買収が難航し、折からの昭和恐慌と相俟って、工事施工の延期を繰り返した。

名古屋鉄道と合併後も工事は引き継がれたが昭和 33 年 6 月 27 日 鉄道起業廃止となった。追分までの路盤跡は生活道路や農道と化した。153 号線西中金方の橋台や足助方にあった橋脚は、車社会になり道路拡幅で撤去されたが、今でも足助方の橋台は現存している。



幻の橋脚跡(足助方から西中金を望む)…旧・パブリックゴルフ場手前(現・ゴルフ倶楽部大樹豊田コース)



昭和 42 年 12 月



平成 15 年 12 月



足助延長は、戦後 2 回機運が高まったが…。

1 回目は昭和 22 年、足助商工会が中心となって「加茂電鉄」を創立し、西中金～足助間に電車を走らせようとする動きがあったが…。

2 回目は豊田新線の開通をきっかけに、足助延長の要望が再燃し三河線延長促進会が発足。14 名の代表世話人が地元の国会議員(中野四郎氏)を介して国土庁へ陳情書や署名簿が手渡されたが…。いずれも夢と化してしまった。



平成 25 年 11 月 9 日

